

開館15周年記念

Shinyuri Theatre



劇団わが町
第12回公演

わが町しんゆり

作・構成・演出 **ふじたあさや**

詳細は川崎市アートセンターHPをご覧ください。

詳細は劇場HPまで

[illegible]

は



Our Town
Shinyuri Theatre
Original work _ Thornton Wilder
Concept,adaptation and direction Asaya Fujita

後援：川崎市教育委員会、NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり



幕なし。
舞台装置なし。
入場する観客には、
空っぽの舞台が目に入るだろう。



しんゆり・芸術のまち

しんゆり だった!



川崎市アートセンター
kawasaki ART center

しんゆりシアター わが町しんゆり

Shinyuri Theatre

劇団わが町
第12回公演

～ソートン・ワイルダー『わが町』より～

劇団わが町

2012年6月に生まれたゆるやかな劇団です。劇団員は地域住民の方々、総勢43名。年齢制限はなく、現在9～81歳までのメンバーが所属しています。しんゆりシアターのラインナップの一翼を担い、長期的に様々な創造活動を行なっていきます。

劇団員募集

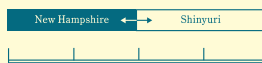
劇団わが町では2023年12月公演にむけ、
2023年春に劇団員追加オーディションを開催します！
詳細は2023年2月に発表！



スタッフ

作・構成・演出：ふじたあさや
美術：池田ともゆき 照明：坂本義美
音楽：藤原豊 音響：山北史朗
衣裳：宮岡増枝 舞台監督：野口岳大
演出助手：原田亮、森山蓉子（ともに Platanus）
宣伝美術：中村圭介（ナカムラグラフィック）
主催：川崎市アートセンター
企画・制作：川崎市アートセンター／NPO 法人 KAWASAKI アーツ

OUR TOWN



しんゆりシアター

アルテリオ小劇場は創造発信する公演を「しんゆりシアター」と名付け、地域劇場＝リージョナルシアターを目指します。リージョナルシアターとは劇場が公共性をもって、プロの俳優・スタッフを集め、舞台芸術作品の創造発信を行うことをいいます。劇場の活動を評価するのは地域住民の方々です。この仕組みを理想とし、私たちは川崎市新百合ヶ丘地域の創造発信の拠点となる地域劇場を目指します。



★ライブ配信
決定!!
12月3日(土)
13:00開演
詳細は劇場HPまで

公演日時

2022年12月2日(金)～4日(日)

チケット (全席指定・税込)

発売日：2022年10月31日(月)

料金：一般2,700円 学生2,200円

小学生1,500円 障がい者割引2,500円

※障がい者割引は電話・窓口にてお取り扱い。(要障がい者手帳／付添1名まで同額)
※未就学児のご入場はご遠慮下さい。
※学生チケットのお客様は公演日に学生証を確認させていただく場合がございます。
※車いすでご来場のお客様は当日のスムーズなご案内のためチケット購入後、事前に川崎市アートセンターまでご連絡をお願いいたします。

取扱い：川崎市アートセンター

窓口：9:00～19:30(原則毎月第二月曜を除く)
電話：044-959-2255(9:00～19:30、土日祝・原則毎月第二月曜を除く)
WEB：<https://kawasaki-ac.jp/th/>

お問い合わせ：川崎市アートセンター 044-955-0107 <https://kawasaki-ac.jp/th/>

コロナのせいで、多くの劇団が、公演中止や延期をする羽目になっているのに、〈市民劇団・劇団わが町〉は、幸いにもそんな目に遭うこともなく、順調に公演を重ねて、10年になる。アートセンターも、誕生して15年の節目を迎える。

こうした節目の年にふさわしい演目は何だろう、と考えて、やはりそれは出発点に立ち返ることだろうと思った。出発点——『わが町しんゆり』の再演である。

1937年、リアリズム全盛の世界の演劇界に、彗星のように登場したワイルダーは、演劇はこうあるべきだという考えから、ひとり自由だった。あり得ることしか許されない時代に、何でもありの、観客の想像力を信頼した演劇を作った。代表作が『わが町』である。現代劇の出発点というべきその『わが町』を、日本に翻案できないかと試みたのが、長岡輝子さんの『わが町溝の口』である。(劇団わが町でも2016年に上演している。) それ以後、大勢の劇作家たちが、それぞれの地域の名を冠した『わが町』を試みている。その「しんゆり版」を試みたのである。それもオリジナル版と、同じ舞台で、同時進行で。ワイルダーの何でもありを、私なりに発展させたつもりだった。

評判になったそれを、再演しようというのである。台本には多少の手を加えた。この10年で、劇団が『わが町』の名にふさわしいものになったかどうか、見届けていただきたい。

劇団わが町 芸術監督 ふじたあさや

劇団員

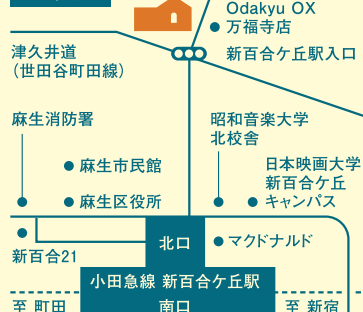
安達原泉、池田圭子、石倉聡乃、井上歩美、上村健太郎、圓崎弥生、大野倫子、小野瑞穂、加藤悠愛、神元心知、小宮祥、境ひなた、酒井道子、佐々木直子、椎野遥、城本裕代、杉本麻美那、鈴木明博、高木良平、高橋良子、田中由美子、徳井知美、徳留比佐子、永里幸太郎、中田結、中原璃芽、夏野みづほ、夏堀妙子、西嶋美晴、萩坂心一、橋迫千明、日野順子、平井陽菜、三浦久尚、宮川怜、宮野華菜、森公洋、柳瀬健太郎、山田朗子、山田スミ子、山田睦実、山田誠浩、結城裕人 ※五十音順

アクセス

川崎市アートセンター アルテリオ小劇場

〒215-0004
神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL：044-955-0107
<https://kawasaki-ac.jp/th/>
小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分

マップ



●駐車場サービスのご案内
本公演をご鑑賞されるお客様に、Odakyu OX万福寺駐車のサービス券(90分)を200円にて発行しております。